

# 南信州広域連合第6回広域連合会議 結果報告

日時：令和2年9月15日(火) 14:28～15:15

場所：県飯田合同庁舎301号会議室

## 【出席者】14市町村長、副管理者

〔南信州地域振興局〕丹羽局長

〔飯田建設事務所〕松下次長

〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長

〔町村会〕岡庭事務局長

〔飯田広域消防〕赤羽目消防長・有賀消防次長兼総務課長

〔飯田環境センター〕北原事務長

〔事務局〕高田事務局長・松江事務局次長兼総務課長・伊藤地域医療福祉連携課長

加藤課長補佐兼庶務係長・櫻井課長補佐兼広域振興係長・宇佐美庶務係主事

## 1 開会…14:28

## 2 広域連合長あいさつ

新型コロナウイルス感染症については、7月末に当地域で1人感染者が確認された。以後、ここまで感染者は確認されていないが、都市部では蔓延しているのもまだ予断を許さない状況にある。広域連合としても、対応及び支援をしていく。

地域経済がコロナショックから立ち直るには程遠い。コロナショックに関わる事業者への支援は、どんな状況にあるかモニタリングをしながら取組んでいく必要があると改めて感じている。

インフルエンザの季節になってきたが、インフルエンザと新型コロナウイルスの症状は似ており区別がつかないので、インフルエンザの予防接種は早めの対応が必要と言われている。それぞれの地域で、こういった状況にも注意をお願いしたい。

## 3 協議・報告事項

### (1) 新型コロナウイルス感染症対策について（資料No.1）【説明者：高田事務局長】

広域連合として広域的に取組んできていることについて整理をした。

#### ・住民へのメッセージの発信

第1弾は6月末から各市町村を通じて全戸へ配布した。第2弾は9月発行の広報誌「すきです南信州」でメッセージを発信した。

#### ・地域の救急医療体制を維持するための支援を行うこと

飯伊地区包括医療協議会からの要望を受け、7月に決定いただいたもの。病院群輪番、在宅当番の待機料、休日夜間急患診療所執務医の報酬を増額。定住自立圏の枠組みにより中心市である飯田市に補正予算を編成していただいた。飯伊地区包括医療協議会では10月半期分の支払いから対応していく。

#### ・地域公共交通を担う事業者への支援を行うこと

貸切バスは、貸切バス事業者が存する市町村が支援する。

乗合バス・タクシーは、新しい生活様式への対応のための支援について、南信州定住自立圏共生ビジョンの枠組みにより、関係するそれぞれの市町村又は地域公共交通会議ごとに対応する。

高速バスについては、収益事業であるとの考え方もできるが、その一方で、当地域から東京・名古屋への移動手段としては高速バスの利用が一番多いということで、その利用者が安心してバスを利用できるように、また、大都市圏へ移動できる環境を確保していくという意味で支援をする。

#### ・介護の現場における新型コロナウイルス感染症対策

介護保険者としての市町村長から、それぞれ管内の事業者へ要請等を行っている。  
在宅医療・介護連携推進協議会の各部会を通じて、特養などの施設に情報共有と資料提供も行っている。

・稲葉クリーンセンターごみ搬入量増への対応

広報誌「すきです南信州」に稲葉クリーンセンターからのお願いを掲載した。6月はごみの量がかなり増え、7、8月は落ち着いた状況にあるが今後もしっかり注視していく。

→ 説明内容確認、質疑なし。

(2) エス・バードの機能強化に向けた長野県への要望活動について（資料No.2）【説明者：高田事務局長】

8月21日（金）に要望活動を行った。要望書の内容は、前回の広域連合会議で説明したとおり。

長野県は、「長野県航空機産業振興ビジョン」の改訂を進めている。このビジョンがエス・バード整備の基礎となっている。その改訂ということで、これからのエス・バードの機能強化に関する要望書を提出した。

知事からは、「航空機産業は足元コロナ禍で非常に厳しい状況にあるが、県としても中・長期的に取り組む必要がある分野と認識している。」と、コメントをいただいた。

→ 説明内容確認、質疑なし。

(3) ㈱キラヤからの寄附金の使途について（資料No.3）【説明者：加藤課長補佐兼庶務係長】

8月17日（月）にキラヤから広域連合に208,300円の寄附をいただいた。

7月豪雨災害に対し、CGCグループの4,000を超える店舗では全国一斉に募金活動を行い、キラヤでも、9店舗と本部において募金活動を行った。キラヤの経営理念もあり、CGCグループを通じて寄附をするのではなく、直接地元へ寄附をする形となったもの。7月豪雨災害の被害は、飯田下伊那地域の広い範囲に及んでおり、圏域をまとめている広域連合への寄附となった。

寄附の趣旨は被災地の復旧支援というものであるが、災害復旧はそれぞれの市町村で行うもので、広域連合としては災害復旧事業がないため、寄附金の使途について検討をした。

市町村の被災状況に応じて市町村に分配することも考えたが、広域連合宛てにいただいた寄附ということも踏まえ、広域連合の中の飯田広域消防で活用したいと考えている。

飯田広域消防から寄附金の使途について説明する。【説明者：有賀消防次長兼総務課長】

今後発生する土砂災害等の消防活動現場において、有効に活用できる消防活動備品を購入したい。

購入したい物品は、「土砂災害危険感知警報・建造物傾斜センサー」で、通称「地滑りチェッカー」というもの。打ち込まれた杭の傾きをセンサーが感知し、土砂崩落の危険性を発報により知らせる。

金額は210,000円程度、寄附金と一般財源から支出する。

令和2年7月豪雨の際、飯田市座光寺で発生した土砂崩落では、要救助者を地中から救出した直後、再び大規模な土砂崩落が発生した。これは、一つ間違えば二次災害による多くの犠牲者を出すことに繋がる事象であった。

従来行っていた安全監視員の配置だけではなく、こういった機械も設置し救助現場における安全管理をさらに確実にしていきたい。

(主な意見等)

阿智村：非常に良いものだと思う。購入後は、市町村への貸出しもしてくれるのか。

有賀次長：救助工作に積載し土砂災害時における活用を考えている。現場における安全管理に活用したい。

連合長：広域消防専用ということで、災害時に使用するもの。

寄附金の使途として「地滑りチェッカー」を購入するということがよろしいか。

(「異議なし」の声)

連合長：寄附金の使途として「地滑りチェッカー」を購入する。

高田局長：この結果を踏まえ、キラヤには使途について報告をさせていただく。

(4) 飯田広域消防本部から（資料No.4）【説明者：有賀消防次長兼総務課長】

・災害時情報共有システム【I-DISS】について

災害時における消防力の把握と随時的確な部隊運用を行うシステムで、マルチデバイスによる同時複数アクセスが可能、リアルタイムな情報共有ができる。

セキュリティ面では、サーバを外部に設置することで大規模災害時の冗長化を図る。システムのログインは、ID 及びパスワードを付与し個人情報保護に留意する。

令和2年9月1日から本運用を開始する。当面は、警防本部、各署所、リエゾンにおけるシステム運用とする。市町村防災担当部局を含め運用（閲覧）の範囲拡大や、地図情報のリンク等機能拡張についても検討、研究していく。

令和7年8月31日までの委託業者との保守契約の中で、随時システムの改良を進める。

・熱中症疑いによる救急搬送の状況について

9月14日現在、熱中症疑いによる搬送人員は100人。昨年同日比12人の減。屋内外の区別では、屋内が多い状況にある。入院を必要とする中等症が昨年より9人多く、25人となっている。

・市町村別火災発生状況について

9月に1件、8月に7件の火災が発生した。8月には2件の犠牲者が出る火災が発生し、1件は自損によるもの、もう1件は住宅火災によるもの。火災は合計で58件、前年比同日比12件の減、死者は4人で前年と同じ状況。

9月に発生した1件の火災は、ごみ焼きの中に玩具花火が入っており、それが爆発し顔に火傷を負ったもの。

（主な意見等）

高森町： 災害時情報共有システムのセキュリティで、サーバを外部に設置することで大規模災害時でも安全だという説明があったが、これはインターネット上にクラウドサーバを配置するという意味か。

有賀次長： そのとおり。

高森町： 大規模災害時にインターネット上のサーバが使えるという想定は危険かなど。デジタル無線の周波数帯域であれば、まだシステムは使えるかなと思うが。災害時に1番使えなくなるのが通信網。

有賀次長： 研究させていただく。

(5) 南信州いいむす21登録判定について（資料No.5）【説明者：櫻井課長補佐兼広域振興係長】

公益財団法人飯田市スポーツ協会、新規の申請。

取組区分は南信州いいむす21で、81ポイントの取得。地域ぐるみ環境ISO研究会の審査で「適合」の判定を受けたもの。

評価のポイントは、「スポーツ文化推進による元気な南信州の構築」に向けて事業を進められている中、昨今の猛暑に対応するべく、桃太郎旗を設置して注意を促すなど、様々な工夫をされていること。飯田市松尾総合運動場の広大な敷地に対して何が緊急事態かを検討し、今年度は豪雨災害を受けて水害についての検討をするなど、適時適切な運用がなされていること。

→ 異議なし、承認。

(6) 後援依頼について（資料No.6）【説明者：加藤課長補佐兼庶務係長】

2件の後援依頼。

・「第2回航空機システム環境評価試験シンポジウム」、公益財団法人南信州・飯田産業センターからの後援依頼。昨年第1回も後援依頼があり承諾されているもの。

10月27日（火）、会場はエス・バード、主催は南信州・飯田産業センターと航空イノベーション推進機構。

・「歯と口の健康を守る郡市民大会」、飯田下伊那歯科医師会と飯伊地区包括医療協議会からの後援依頼。毎年後援依頼があり承諾されているもの。

場所は、新型コロナウイルス感染症対策として飯田下伊那歯科医師会会員歯科医療機関で分散開催する。

→ 異議なし、承認。

(7) その他

・松川町から映画「実りゆく」について

10月2日から飯田千劇シネマズで上映される。実話をもとにしたもので、主題歌は飯田市と豊丘村出身の2人組の「GLIM SPANKY」が歌っている。面白い作品になっているのでぜひ観に行ってください。

4 長野県

(1) 南信州地域振興局

→ 報告事項なし。

(2) 飯田建設事務所

今日から第3次の災害査定を始めた。令和2年7月豪雨により件数が非常に多い。災害査定は11月までに今回を含め4回。長丁場になるが相互の協力をお願いしたい。

(3) 飯田保健福祉事務所

・新型コロナウイルス感染症について

飯田市立病院の検査機能が充実し抗原検査もできるようになった。抗原検査であれば休日夜間でも検査可能。

病院の検査技師、保健所の職員を増やし、介護施設等で新型コロナが発生した場合は、2時間で全検体採取し3時間くらいでPCR検査できる体制を整えた。

瀬口脳神経外科病院と中部公衆医学研究所では、自由診療（全額自費）でPCR検査ができるようになった。

開業医の2割くらいでPCR検査ができるような体制にしたいと考えている。

・ウォーキングチャレンジについて

昨年は9～11月の3か月間行ったが、今年は10、11月の2か月間行うのでぜひ参加を。

5 閉会…15:15